

南十字星の下で —— 見えない宇宙に挑むアルマ望遠鏡



ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)

南米チリにある、世界最大級の電波望遠鏡アルマ。

観測開始からちょうど10年。これまでにどんな宇宙の謎を解き、さらに何を捉えようとしているのでしょうか？
南半球の星空とともに紹介します。

日時： 令和3年4月25日（日）
13:30～15:00

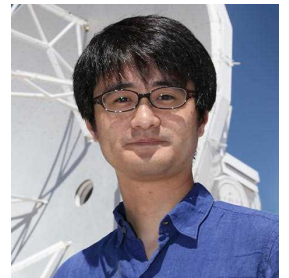
会場： 島根県立三瓶自然館サヒメル
ビジュアルドーム

講師： 国立天文台 アルマプロジェクト 助教
平松正顕氏

料金： 入館料（大人600円、小中高200円）

定員： 60名（要予約）

申込： 3月25日（木）より電話で受付
電話 0854-86-0500



ひらまつ まさあき
平松 正顕 氏

自然科学研究機構 国立天文台 アルマプロジェクト／総合研究大学院大学 助教。東京大学大学院 理学系研究科 修了、博士（理学）。台湾中央研究院天文及天文物理研究所 博士後研究員を経て、2011年から現職。学生時代から電波望遠鏡を用い、太陽のような星や惑星の誕生過程を探っている。またアルマ望遠鏡の広報担当として、講演や執筆活動も精力的に行っている。

新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容が変更になる場合があります。

島根県立三瓶自然館サヒメル

島根県大田市三瓶町多根1121-8 電話0854-86-0500 <https://nature-sanbe.jp/sahimel/>